

～これからの常識～
屋根パネル 加工のご提案

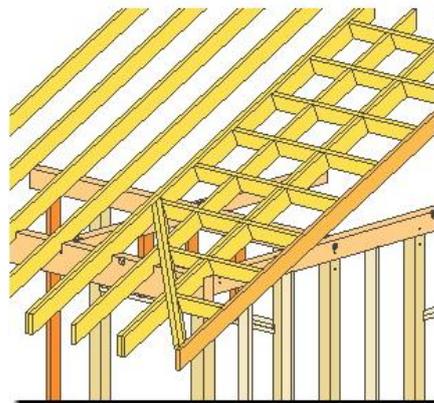
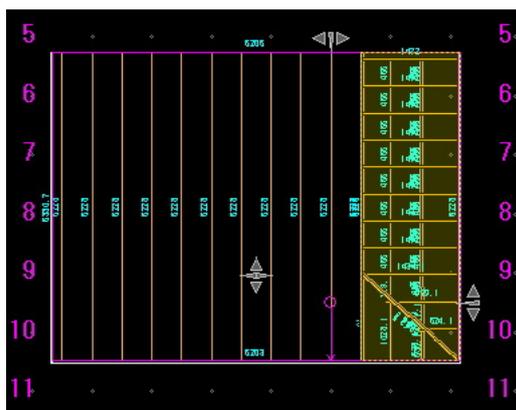
旭木材工業株式会社

プレカット事業部

TEL0280-92-5110

1. ケラバの出をスッキリ (垂木でケラバを出します)

利点＝破風板を薄く出来る事で、屋根を軽く見せる事が出来ます。



住宅建築で軒を出すという事は、デザイン上というよりは「建築物の耐久性」という面からも、なるべく大きく出した方が良いと思います。

大きく出すに当たって、重たく見えてしまう屋根（破風板が広い）ではシンプルな建築になりません。そこで京都の木舞ケラバ的に垂木でケラバを出す事でスッキリした屋根に仕上がり美しい造形美を作ってくれと思います。

2. 屋根の施工性が向上

現場でケラバ垂木を組みながら取り付ける現場が多いですが、本垂木にケラバ垂木を取り付けるという事は、現場で行う事が非常に危険ではと思っております。最低でもケラバの部分だけでもパネル化されている事で、安全に施工が出来、上棟日に野地板まで施工し翌日には屋根のルーフィング施工が出来る事で雨仕舞を出来る利点にも繋がります。

上記の様な事から「屋根パネル」の生産を開始致します。当初は切妻仕様の屋根での制作になります。順次、色々な屋根のパネルを作れるように取り組んで参ります。